

令和5年度幼稚園学校評価（高浜幼稚園）

分野	評価項目	評価の着眼点	自己評価		学校関係者評価		改善策 評価結果を踏まえた今後の取り組み
			達成及び取組状況	評価（点数式）	評価（記述式）		
教育課程・指導	①学年・学級経営	教職員は、教育目標の達成を目指した学級経営を行っているか。	きめ細やかな個別指導やその子のやりたいことを丁寧に探り時間をかけて探究活動に取り組みさせるなど、少人数教育のメリットを最大に生かし、学級経営を充実させ一人一人を大切に保育に努めた。	4	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者評価からどの園児も幼稚園へ行くことを楽しみにしていることが分かる。毎月の園だよりに保育のねらいと計画が掲載されており家庭との連携を大切にしていることが分かる。 ○長時間預かりをしていることを住民にさらにPRするとよい。 		<ul style="list-style-type: none"> ○粘り強く物事に取り組めるような活動を工夫するなど少人数教育の良さを生かす教育課程を編成し保護者、地域から信頼される園経営を行う。 ○園の教育目標や経営方針を全ての職員が共有して教育活動に当たる。 ○保護者とよく連携し、連絡帳や送迎時での情報交換、家庭訪問や個人懇談などの機会を利用して子どもの成長を確かめながら丁寧にきめ細やかな保育を行う。 ○園児の様子や保育に関する情報を職員間で共有し、丁寧かつ多面的な視野で幼児一人一人の個性や発達を捉える。 ○職員自らが高い人権意識をもち、日頃の園生活の中で幼児のモデルになるように行動する。 ○運動会や生活発表会を始め様々な園行事を実施する際、子ども達のどういふ面を育てるのか、ねらいを明確にして取り組む。 ○高浜地区の子ども達の教育のために保・幼・小の連携をさらに強化していきたい。 ○職員が他園へ出かけて研修をしたり小学校の学習公開日に参観したりする機会を増やしていきたい。
	②幼児理解	教職員は、一人一人の幼児の発達の姿から課題を捉えて保育を行っているか。	少人数の良さを生かし、職員間の情報交換や家庭との連絡、日々の観察等から、園児の経験の量や興味関心を丁寧に探ったり記録をとったりしながら、一人一人の発達の課題に合った保育計画を作成し日々の成長につなげた。	4	<ul style="list-style-type: none"> ○保育中の観察や家庭との連絡帳の情報から現状を把握し、一人一人の発達にあった保育計画を作成している。 ○今の年中児の良さをいかしながら年中児としての力をどのように伸ばしていくかが大切。これが来年度の全園児の力を伸ばすことにつながる。 		
	③特別支援教育	特別な支援を必要とする幼児の実態や課題を明確にし、計画的・組織的に指導を行っているか。	市の巡回相談を利用して支援が必要な子どもについて一定の保育方針を職員間で共有できるよう努めた。そのことにより職員が同じ思いを持ち、真に子どものことを考えた支援をすることができた。また発達障がいに関する研修を定期的に行うなどによりいつでも組織的な対応ができるように努めた。	3	<ul style="list-style-type: none"> ○先生方や読み聞かせボランティアの方に絵本を読んでもらうことで子ども達に思いやりの心が育っていると思う。 ○園庭だけでなく園舎内でも行事や季節に合わせ教室や廊下の掲示を変えたり工夫したりしていることで園児に季節の変化を感じさせたり安心感を与えたりしている。 		
	④人権・同和教育	教職員は、自らの人権感覚を磨き、幼児に人権意識の芽生えを培うように配慮しているか。	4月に全体指導計画を見直すとともに、人権・同和教育研修を計画的に行い、職員の人権意識、人権感覚の向上に努めた。また秋の保護者会では県人権啓発推進センターの人権啓発パネルを用いて就学前の人権教育に関する研修を行った。	4	<ul style="list-style-type: none"> ○公開日の人権パネルを保護者の方にはあまり見ていなかったのもう少しお知らせをするべきであった。 ○教職員がいつも穏やかに協力しあって保育をしている姿が良い。 		
	⑤行事	教職員は、行事を幼児の発達を促す機会と捉え、工夫、改善しているか。	コロナの収束に伴いこれまでできなかった行事を精選しながら幼児の発達にとって効果のあるものから教育課程の中に取り入れていた。特に地域の自然に触れる活動については園の課題であるコミュニケーションの能力の育成や探求心の向上等をねらいとして積極的に教育課程に取り入れた。	4	<ul style="list-style-type: none"> ○生活発表会で園児が自信を持って演奏したり特技を発表をしたっていた。 ○一人一人が主役となって活躍する運動会や生活発表会の姿を見て地域住民としてうれしく思う。 ○園児の姿が地域でもっと見られると良い。 		
	⑥保幼小連携	近隣の小学校等との連携を密にし、なめらかな接続に努めているか。	保幼小交流の日における3年生との交流や園児による小学校訪問を行った。また管理職による定期的な意見交換会の開催や保幼小連携推進会議の開催、担当者による連絡会議の実施、中堅時研修職員の小学校での実習、園職員の授業参観等により幼小連携の充実に努めた。	3	<ul style="list-style-type: none"> ○天気の良い日に外で自然観察をしたり小学校へ出かけたりする時みんなよく挨拶をしている。 ○連絡会や学習公開日、幼稚園の保育公開日などを利用して先生方が積極的に交流されている点が良い。 		
家庭・地域との連携	⑦家庭・地域との連携	幼稚園と保護者、幼稚園と地域（未就園児等）との協力関係はできているか。	未就園児教室募集のためのチラシを配布したりコミセンでの各種会合を利用して呼びかけをおこなったりしている。地域連携についてはふるさと祭り、コミセンの行事などに積極的に参加すると同時に慶人會や更生保護女性会など地域の方に園の様子を見ていただく機会も増やし、また保育園との交流も2回、実施するなど協力関係の構築に努めた。	3	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての力の基礎となる粘り強さやたくましさ、耐性などを色々な場面を通して育てるために家庭との連携は必須。 ○今年度はとがたがた保育園との交流も復活し小学校へ向けて同級生との関わり方も体験できたと思う。 ○未就園児教室について募集チラシを町内に配布したり市の子育て支援センターに掲示したりするなど色々な工夫をされた。 ○ふるさとまつりの参加、文化祭での作品展示や天平古道探検、季節ごとの園外保育など様々な機会を通して地域連携をされた点を高く評価したい。 ○計画的に園児が地域方と交流したり地域へ出かけて学ぶ機会を設けていく。 ○ホームページや園便り、地域の広報、ICT等を活用して保護者の方だけでなく地域の方へも園の様子をお知らせする。 ○未就園児保護者の方へ定期的に便り発行してより丁寧な情報提供を行う。 ○預かり保育の延長等についてより多くの方に知っていただけようあらゆる機会を通してPRを行う。 		
研修	⑧研究・研修	教職員一人一人が、園内外の研究・研修の機会を自己研鑽の場として受け止め、進んで研究・研修に取り組んでいるか。	市幼研の主題による研究に併せ、本園の課題である少人数の良さを生かせる教育課程を編成するための研究に取組んだ。特に伝え合う力の育成や園児が夢中になって遊ぶための環境作りについて、職員会等で常に共通理解を図りながら日々の保育の充実に努めた。	3	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園では質の高い教育環境を提供するために職員が日々研修を行っておられると聞いて安心している。 		○タブレット等のICTの活用により日々の保育の様子を記録して職員でその時の動画を見ながら保育のあり方について研修を深めるなど研修の仕方を改善していく。
組織運営	⑨園務	教職員は、他教職員と協働し、計画的に園務を遂行しているか。	職員会で決まったことや保育に関する情報共有を丁寧に言い、園の教育目標達成に向かい、互いの思いを尊重しながら職員同士が協働して計画的に園務を遂行することができた。	4	<ul style="list-style-type: none"> ○行事や公開日の様子から教職員同士が互いに信頼し合い、よく相談して一人一人の園児を大切に思っ保育をしていることが分かる。 		○子ども理解のための情報交換、情報共有を細かに行い組織的かつ協働する職員集団を目指す。
安全管理・保健管理	⑩危機管理	園の危機管理及び幼児の安全や衛生の管理体制を全教職員が理解し、適切な対応に努めているか。	危機管理マニュアルの確認を定期的に行い、子どもや保護者が安心して活動できる環境づくりに努めるとともに、園外保育における職員の役割分担や緊急時対応、活動場所の事前下見や救急セットの確認を徹底した。7月には洪水想定避難訓練を実施し、2月は防犯教室を行った。	3	<ul style="list-style-type: none"> ○保健衛生をはじめ園児の安全のために細心の注意を払っていると思う。 ○洪水時の避難訓練や防犯教室を計画的に実施している。 		○家庭との連携、養護教諭との連携により園児の健康管理に細心の注意を払うとともに、危機管理マニュアルを定期的に見直し安全や衛生の管理体制について全職員で確認できるようにする。
教育環境整備	⑪園地・園舎・遊具等の施設・整備	園地・園舎・遊具等の施設・設備を定期的に点検し、必要な改善・管理を行っているか。	毎月、施設内外の安全点検を行い、修繕が必要な箇所については保育幼稚園課や教育委員会施設課に相談して対応した。今年度は築山の修理、みぞ蓋やスノコ修理、樹木剪定のほか、安全対策として園庭のへ外灯設置を行った。	3	<ul style="list-style-type: none"> ○草刈りや樹木剪定、花壇や畑の整備が計画的に行われており、園児だけでなく通りかかると人も喜んでおられる。 ○いつまでも園庭がきれいに整備されている。 		○園舎、園地、遊具等の点検を定期的に行い安全で安心して過ごせる環境づくりに努める。配置が必要な箇所が見つかった場合はすぐに対応する。

※自己評価の評価基準 4：十分達成している 3：概ね達成している 2：改善を要する部分がある 1：大いに改善を要する